

楽しい情報
満載！

KanoComi

明るく元気な鹿野をつくる情報誌

みんなで創る
情報誌

vol.32

かのの



水芭蕉の芽



オモト



鹿野おもてなし塾

～みんなのアイディアが観光体験ツアーになる？！

大きなことはできないけど、鹿野に来られた方に良い場所や特産品などをおもてなしの心を持って紹介し、すこしでも喜んでもらいたい！

今、鹿野は観光地として注目されようとしています。一緒に楽しみながら学びましょう。

ご参加、お待ちしております。

【今後のスケジュール】

（日程が変更になる場合があります）

3月9日（土）「鹿野の四季の花・山野草について」

講師：今井敏夫さん（自然観光指導員）

4月13日（土）「山野草のエキを散策しよう」

講師：今井敏夫さん 山野草のエキ保存会

【問い合わせ先】岩田 純 ☎ 090-4800-8140

鹿野
ほっと
NEWS

からく
楽し
学ぶには

第11回 身近なところにかくれている数

数はどうやって始まったのでしょうか？中学校に入ってすぐに「自然数」を勉強すると思います。自然数とは、「正の整数」つまり 1、2、3 …という一番シンプルな数です。昔の人は「ドングリが1個、ドングリが2個」というように、ものの多い少ないを比べるときに数を使うことを思いついたのでしょうか。そこから発展して、小数や分数、負の数や無理数といった数がどんどん生まれてきました。数学は数字の学問なので、数字に親しみ、身近に感じることが大切です。たとえば、鹿野から徳山駅までは何 kmあるでしょうか？人は一日何回呼吸をするでしょうか？今から 2200 年も前に、ギリシャのアルキメデスは「地球に砂粒は何粒あるだろう？」そして、この宇宙をすべて砂粒で埋め尽くすには何粒必要だろう？」と考えて実際に計算しました。それは、現代までの宇宙研究の基礎にもなっています。皆さんも、どうやったら計算できるかちょっと考えてみてください。ガリレオも「宇宙は数学という言語で書き記されている」と伝えています。皆さんも、数学を使えば宇宙という書物を解き明かすことができるのです。



文責：
藤井塾主宰 藤井 隼介

地域医療コーナー

予防接種について

医師 河野 正輝（コウノ マサヒロ）

今回は予防接種についてです。予防接種は、受ける本人の免疫力を高めるだけでなく、対象とする感染症の流行を抑える効果も期待できます。天然痘が根絶され、小児麻痺の原因となるポリオも日本では撲滅できました。近年ではヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンの定期接種により、髄膜炎の大幅な減少が報告されています。

いま問題とされているものに「風しん」、いわゆる「三日はしか」があります。妊娠初期の女性がかかると、生まれてくる赤ちゃんに「先天性風しん症候群」と呼ばれる難聴や心臓病、発達の遅れなどを生じる危険があります。風しんには予防接種が有効ですが、定期接種が行われなかった時期があるため、近年は成人男性を中心に行われています。妊娠前の女性、定期接種を受けていない男性は要注意です。妊婦さんや赤ちゃんを守るために、ぜひ関心を持っていただけたらと思います。

詳細は周南市健康づくり推進課や山口県健康増進課のホームページなどをご参照ください。

地域のイベント・ 行事予定

- ★2月19日（火）9:00～ 街並み等雑木植栽活動 鹿野の風プロジェクト
- ★2月24日（日）13:30～ 地域まるごとケア アンケート報告会（仮称） 明るく元気な鹿野をつくる会
- ★4月14日（日） 石船温泉さくらまつり
- ★4月14日（日） 金峰さくらまつり
- ★4月29日（祝） 長野山山開き

編集後記

暖冬傾向な今年の冬、鹿野で一面の雪景色にお目にかかる回数も少ないような気がします。

「昔はひざまで埋もりよった」「玄関から出られんかった」という話をよく聞いたものです。その頃からくらべると雪の量も住民の生活もずいぶん様変わりしたと思います。平成が終わり、新しい時代が始まります。鹿野が明るく元気な地域でいられるよう、皆で知恵と力を合わせて取り組んで行きましょう。

『これ、みんなに教えちゃげたい』などというとっておきの情報をお持ちの方。ご連絡ください。

【情報提供先】

明るく元気な鹿野をつくる会事務局

（コアプラザかの）：0834-68-2094

鹿野総合支所地域政策課：0834-68-2331

『鹿野賞』鹿野を切り撮れ フォトコンテスト応募続々！

明るく元気な鹿野をつくる会の
産業振興部が主管するフォトコン
テストの応募が多数寄せられています。

一年を通して鹿野の魅力を写真
に撮ってもらい、鹿野地区への交
流人口増と地域とふれあってもら
う企画で、これからも引き続き開
催する予定です。

今年度の締め切りは平成31年
3月15日です。

鹿野地区住民の方も奮って応募
してください。



地域交流で明るい鹿野の未来を!

「安心・安全なふるさと鹿野をつくる」をテーマに合同研修視察!!

去る12月7日(金)に、鹿野自治会連合会・鹿野地区社会福祉協議会・鹿野地区自主防災会・明るく元気な鹿野をつくる会の35名(事務局含)が福岡県朝倉市へ研修視察を実施。目的は、①災害時の対応と防災への取組み②生活交通(コミュニティバス他)への取組みについての研鑽です。

平成29年7月の朝倉市北部豪雨は甚大な被害となり「線状降水帯」という言葉もキーワードになりました。まず「杷木地区」を訪問。コミュニティ会長から当時の様子についてのお話。「防災MAPを作成したら安心していた」「責任は行政、住民も含め多岐に渡る」「災害はいつ、どこで起きるか分からない」といった反省や「避難場所を各公民館に設置した」「年に一回は防災訓練を実施する」といった取組みについて説明がありました。最後には、悔しさでショック感極まる様子もありました。

市の中心部に戻り、職員から「地域公共交通」や「北部豪雨」の説明があり、路線バスの廃止路線の代替として市の補助で運営する「コミュニティバス」「あいのりタクシー」を紹介。「住民サービスに伴う利便性・格差の平準化」「コストの上昇を抑えたい」といった相反する問題に苦慮されている様子が伺えました。



早朝の6時30分に出発して夜中の20時に帰着するハードな研修でしたが、ふるさと鹿野でみんなが安心・安全な生活ができるように私達一人ひとりの「想い」「できること」でこうした研修を活かしていくべきだと感じました。

文責：明るく元気な鹿野をつくる会
生活安全部会長 尾崎 行雄

周南市コミュニティ推進連絡協議会 交流集会

去る12月1日(土)に、三丘市民センター(徳修館)で開かれた交流集会には、周南各コミュニティから65人の参加。テーマは「子どものための取組」と「防災(災害対応)への取組」でした。

7月豪雨災害の被災地視察で、島田川が増水し「橋を渡れば海だった」という田の被害を目の当たりにして、復旧はまだまだと実感。自主防災の重要性を伝える、会長さんのお話しの中に「みんなの手で」が何回も。

ずっと子どもがいるまちであるためにどうするかを共通テーマとして、定住・産業・環境・学校の四つの部会を設けている。子どもも大人も集う手づくりレストラン『タベルナタベタ』の温かさがまちの温もりとなっている。

鹿野は広域であることが常に課題だが、共通のテーマでネットワークを持つことが大切だと感じた。鹿野だから出来ることがあるとも思えた貴重な交流会でした。

文責：明るく元気な鹿野をつくる会副会長 有國 美恵子



『みつお子どもがすつといむまちプロジェクト』拝聴



みつお夢ひろばに出現した巨大アイス



ステッカー誕生

夢プラン策定委員会 CMK(クリスマス会)に参加して

去る12月23日(日)に、初の試みとして鹿野の皆さんと交流を目的としたクリスマス会を実施しました。

子供達によるケーキ作り、みんなで鹿野のキャラクターを考えよう!鹿野のミライに期待する事を書いてみよう、bingoゲームなどを催し、大人子供合わせて36名の方にお越しいただき終日楽しく過ごしました。

20代~40代の方で子供と一緒に参加される方が多く、来ていただいた方からは『地域の方と気軽にコミュニケーションが取れて楽しかった』『なかなか集まる機会がなかったので、呼んでもらって嬉しかった』『和気あいあいとした雰囲気で鹿野のキャラクターを考えたりして子供と一緒に楽しめ、充実した日になりました』など、来られた方々は楽しみ、交流を深めて帰っていただき嬉しい限りです。

今後もこのような企画を実施して皆さんと楽しく交流を深めたいと思います。来られなかつた人も次回の参加をお待ちしています。最後に今回協力してくださった方々、ありがとうございました。

文責：夢プラン策定委員キャプテン 塚田 竜二



教育文化部からのご報告

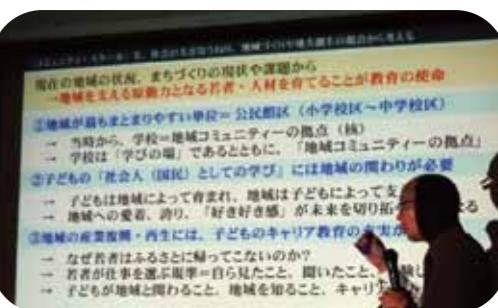
去る11月27日(火)に、山口大学大学院教育研究科教授 霜川正幸先生を講師に迎え、演題「これからの教育と地域づくり」講演会を行いました。当日は鹿野小中学校の保護者の皆さん地域の方々や先生方も参加され70名以上の参加者がありました。

講演では学校と地域がどのように係わり合い四輪駆動車のように学校と地域が連携・協力し合って、地域を元気にするためにどうすればよいのかを自分たちで考え実践していくことが、重要であり必要であるかを学びました。

学校では授業の中で、自分たちが住んでいる地域について、現在そしてこれから先のことについて考える「熟議」があるそうです。子どもたちがふるさと「鹿野のこと」について真剣に議論していることも大変うれしく、心強く感じています。

鹿野の持続可能な地域づくりのため、これからももっと地域と学校とが共に協力し合って、まちづくりについて考え、実践していくことが大切と思いました。

文責：明るく元気な鹿野をつくる会
教育文化部会長 片山 研治



2018/11/2